

平成23年9月6日

国土交通省直轄事業における公共事業の
品質確保の促進に関する懇談会

資料4

総合評価方式の活用・改善等による 品質確保に向けた検討について(案)

1. 平成22年度の実施内容

(1)総合評価方式の実施状況のフォローアップ

○国土交通省直轄工事における総合評価方式の実施状況を年次報告としてとりまとめた。

(2)入札契約制度等に関する透明性の確保

①総合評価方式における更なる透明性向上に関する検討

○H22.4より実施した透明性の確保等に関する改善策について、実施状況を整理した。

○発注機関、建設業界及び一般の方々に対して、これまで実施してきた透明性に関する取り組み等に関して広く意見聴取(アンケート及びパブリックコメント)を実施した。

②工事関連データの提供・共有化、工事内容を説明する機会の設置

○工事関連データについて、技術提案を希望する者に対して容易に提供できるようマニュアル(案)を作成した。また、103件試行を実施した。

○ITを活用した工事内容を説明する機会の設置に関するマニュアル(案)を作成した。また、27件試行を実施した。

③工事の総合評価方式の運用ガイドラインの作成

○平成21年度に提示した「標準案」の実施状況等を踏まえ、工事の総合評価方式に関する運用ガイドラインを策定した。

1. 平成22年度の実施内容

(3) 多様な発注方式の導入・普及に関する検討

① 総合評価方式における二段階選抜方式、事後審査方式の試行・評価

- 技術提案を求める案件(標準型)で、提案者が比較的多い案件において、二段階選抜方式を7件試行した。
- 予定価格超過が多く見込まれる案件等において、事後審査方式を3件試行した。

② 地元企業活用審査型、特定専門工事審査型総合評価方式の試行の拡大

- 地元企業活用審査型総合評価落札方式を27件試行した。
- 特定専門工事審査型総合評価落札方式を68件試行した。

③ 国内における国際的な入札方式の活用

- 国土交通省における成長戦略(H22.5)に基づき、建設業の海外展開を支援するため、「国際的な発注・契約方式等の活用に関する懇談会」を設置し、以下の入札方式の導入を検討した。
 - (1) 設計付工事発注方式におけるコンソーシアム方式の導入
 - (2) 第三者技術者(the Engineer)の導入

(1) 総合評価方式の実施状況のフォローアップ

○国土交通省直轄工事における総合評価方式の実施状況を年次報告としてとりまとめ、公表する。【参考4-2】

(2) 総合評価落札方式の効果検証と更なる展開【参考4-3】

① 総合評価落札方式の効果検証

○総合評価落札方式の品質確保への寄与度について、総合評価のタイプ、評価項目等による影響を分析することにより効果を検証する。

② 総合評価方式の制度設計

○総合評価方式の効果検証結果を踏まえ、工事規模、工事種別等により適用すべき総合評価方式のタイプ、評価方法を検討する。

- 技術提案を求めるタイプと簡易に技術力を評価するタイプへの二極化等
- 技術評価点の考え方

(3) 多様な発注方式の導入・普及に関する検討

① 総合評価方式における二段階選抜方式の試行拡大における検討

- 一段階目における絞り込みの方法、絞り込み業者数等の検討
 - 選抜企業の偏りの防止
 - 選抜するための評価項目の設定

② その他

- 総合評価方式における事後審査方式の試行
 - 分析・評価の実施
- 地元企業活用審査型総合評価落札方式の試行
 - 適用の拡大、評価項目の検討
- 特定専門工事審査型総合評価落札方式の試行
 - 適用の拡大、評価項目の検討